

## チーム江東・環境配慮推進計画の令和 2 年度進捗状況について

### 1 概要

- ・本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本区の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量の抑制等を推進するための計画である。
- ・令和 2 年 3 月に「チーム江東・環境配慮推進計画（第 3 次庁内環境配慮推進計画）」を新たに策定し、計画期間を令和 2 年度から令和 1 1 年度までの 1 0 年間とした。
- ・目標は二酸化炭素排出量の削減であり、その値は令和 6 年度に平成 3 0 年度比 5 %削減、令和 1 1 年度に 1 0 %削減である。

### 2 目標と令和 2 年度の実績

二酸化炭素排出量を 3 0 . 6 %削減（平成 3 0 年度比）、目標を達成した。

基準値 (平成 3 0 年度)	目標値 (令和 6 年度)	実績値 (令和 2 年度)
3 6 , 3 8 6 t-CO <sub>2</sub>	3 4 , 5 6 7 t-CO <sub>2</sub> (△ 5 %)	2 5 , 2 4 9 t-CO <sub>2</sub> (△ 3 0 . 6 %)

### 3 目標達成に向けての取組みと令和 2 年度の進捗状況

- ・二酸化炭素排出量の削減に向け、1 0 の管理指標で進捗を管理（表 1）
- ・令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があった。

管理指標総数 1 0				
基準値のある指標 9			基準値のない 指標 1	
達成 4	達成に至らず 4			実績なし 1
	向上 1	低下 3		

### 「達成」した管理指標

管理指標		実績値の状況
3	都市ガス使用量(床面積あたり)	施設の休館や利用制限による
4	上水道使用量(床面積あたり)	
6	エネルギー使用量* (床面積あたり・原油換算)	都市ガス、電気の使用量の減少による
7	廃棄物量	施設の休館や利用制限による

\*エネルギー使用量は、熱量へ換算した電気・ガス・燃料の使用量を原油換算して算出

### 「向上」した管理指標

管理指標		実績値の状況
2	電気使用量(床面積あたり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明器具のLED化等、省エネ対策の浸透</li> <li>・施設の休館や利用制限があったものの、換気のため空調利用が増加</li> </ul>

### 「低下」した管理指標

管理指標		実績値の状況
1-①	コピー機・複合機の出力枚数	前年度と比べ所管ごとに増減があり、全体として増加
5	低公害車の導入	未導入車数は前年度から変わらないが、低公害車導入対象数が減少
8	リサイクル率	紙やビン・缶・PETなどが減少

### 「実績なし」の管理指標

管理指標		実績値の状況
9	木材利用 0.008 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> 以上の新築・改築施設の割合(木材利用推進方針)	新築・改築ともになし

### 「基準値のない」管理指標

管理指標		実績値の状況
1-②	用紙購入量	令和2年度の実績値が、令和3年度からの基準値となる

## 4 今後について

全職員が一丸となりチーム江東として「脱炭素社会の実現に向けた取り組み」を行い、「ゼロカーボンシティ江東区」を実現していく(表2)。

## 全管理指標の実績値と基準値比

○ (達成) ↑ (向上) ↓ (低下)

管理指標*1	単 位	基準値 (平成 30 年度)	令和 2 年度		前期目標 (令和 2～ 令和 6 年度)	目 標 達 成	進 捗 状 況
			実績値	基準比			
1 ①コピー機・複合機の出力枚数	千枚	38,838	39,326	1.3%	現状維持		↓
②用紙購入量	千枚	-*2	82,601	-	現状維持		
2 電気使用量(床面積あたり)	kWh/千㎡	22,507	22,092	△1.8%	△5%		↑
3 都市ガス使用量(床面積あたり)	Nm <sup>3</sup> /千㎡	1,644	1,545	△6.0%	△5%	○	
4 上水道使用量(床面積あたり)	m <sup>3</sup> /千㎡	595	451	△24.2%	△5%	○	
5 低公害車の導入	導入率	93.5%	92.5%	△1.0%	100%		↓
6 エネルギー使用量 (床面積あたり・原油換算)	kL/千㎡ (原油換算)	7.8	7.46	△4.4%	年平均1% 以上削減	○	
7 廃棄物量	t	1,183	1,056	△10.7%	△5%	○	
8 リサイクル率	%	49.3%	48.0%	△1.3%	65%		↓
9 木材利用 0.008 m <sup>3</sup> /㎡以上の新築・ 改築施設の割合(木材利用推進方 針)	%	100%	-*3	-	100%		

\*1 1-②用紙購入量を除き、「チーム江東・環境配慮推進計画(第2次庁内環境配慮推進計画・後期)」からの継続

\*2 平成30年度に調査をしていない

\*3 令和2年度は新築及び改築施設がないため、実績なし



# 脱炭素社会の実現に向けた取り組み

チーム江東・全職員の参加により「ゼロカーボンシティ江東区」の実現を

## 継続の取り組み (2021年・加速)

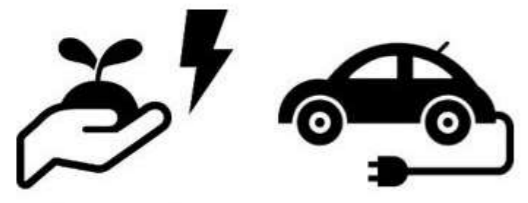


チーム江東・環境配慮推進計画の促進

### すべての事務事業を対象に、CO<sub>2</sub>排出削減のための見直しを進める

- ペーパーレス会議の推進や裏紙利用等により“紙の利用”を削減する
- 物品を再活用し廃棄物を減らし、環境に配慮した物品等の購入を積極的に推進する
- 各施設の照明器具を、LED照明に交換する

## 中期的方向性 (2030年)



新電力の活用・次世代自動車の導入

### 環境負荷の小さい電力供給会社への切替、庁有車の次世代自動車への入替、CIGの普及

- 電力契約を、CO<sub>2</sub>排出係数が低い電力に切り替え、江東区役所RE100\*1を実現する
- 庁有車を電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッドなどの次世代自動車へ入れ替える
- CIGの普及を進め、森林を保護し、木材利用を促進する

## 長期的方向性 (2050年)



庁舎のZEB化・新技術の実装化

### 庁舎等公共施設のZEB化、地域経済を支える新技術の整備

- 国や都の事業を活用し、建替えに合わせて、庁舎等公共施設の「ZEB」\*2化を検討する
- 公営住宅等建替え・集約事業に伴う区営住宅の建設にあたり、「ZEHR ready」\*3を目指す
- 海藻を水中に植樹し、CO<sub>2</sub>を吸収する「ブルーカーボン」を臨海部にて実施する

\*1) RE100 (アールイーひゃく) は、事業運営に必要なエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うこと。自家発電や再エネ電力の購入により、江東区役所の使用電力に係るCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする。  
 \*2) ゼブ、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称。省エネで使用エネルギーを減らし、創エネで使用エネルギーをつくることで、年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物。  
 \*3) ZE H (ゼッチ) (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) を見据えた先進建築物として、壁、窓、屋根等の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した住宅。